

ケニア×食事とマスクを届ける活動

～ナイロビスラムエリア:ストリートで暮らす人々へ
“今”を生き抜くためのサポートを～



コロナが世界的に猛威をふるい続けるなか、スラムエリアに住む人々の暮らしは厳しさを増し、なかでもストリートで生活している人々は支援の範囲から遠い場所におかれている状況にあります。

この状況下、自分の身を守るための術としてマスクを持つ事もできず、日々の食事に困苦する人々がたくさん存在しています。特にスラムエリア・ストリートで生活する人々は一般の人々と比べても、もしもの時に医療にアクセスできる可能性は低く危険な環境に身をおいているといえます。

『自分で自分自身を守る術を知る・手に入れること』はコロナ禍の今、彼らにとって生き抜くための手立てとなります。Chosen Generation Globalは、ナイロビスラムエリアの中の一つ“カワングワレスラム”のストリートで暮らす人々を主な支援対象とし、「マスクの配布」「食事提供」の支援活動を行っています。

皆さまのご支援が彼らの身の安全と困難な今の状況を生き抜く大きな力・支えとなります。

“暖かい食事とマスクを届けよう” 皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

JICA海外協力隊 村岡智子(ケニア・青少年活動)

★プロジェクト実施団体★

Chosen Generation Global

▶ナイロビを活動拠点とする有志団体(CBO)。2020年1月設立。NPOとしての団体申請計画中。

活動メンバーは10名ほど(全員ケニア人)。

主に、ストリートで暮らす子どもや成人、その家族らに向けた支援を行っています。

食事提供のほか、キリスト教の教えを用いながらストリートで生活する人々の生活改善に向けたカウンセリングを行っています。

<https://www.facebook.com/chosengenerationglobal>

★代表者★

Antony Mwangi (アントニー ムワンギ)

▶元ストリートキッズ。キベラ育ち。

現在はカワングワレに住みながら自営業(映像制作)を営んでいます。

歌・ダンス・アクロバットなどが得意で子供達にも教えています。



★コロナ禍緊急支援の活動概要★

【活動の目的】

- ストリートで暮らす生活困苦者に、コロナ禍の中で自分自身をケアすることの重要性や方法を伝え、必要な物資を提供すること。彼らが自ら実践し、自分の身を守れるようになること。
- この状況下で誰もが飢え死んだりすることのないようにサポートすること。

【活動地域・場所】 カワングワレスラムの中にある広場

【支援対象】 カワングワレスラム・ストリートで暮らす生活困苦の方々(300名前後)

【活動頻度】 週に3回

※月・水・金を予定していますが活動資金の集まり次第で実施頻度が変わります。

【支援内容】 食事支援(炊き出し形式)、マスク配布、

ヒアリングとカウンセリング(お祈り含む)、生理用ナプキンの配布

※食事支援が優先支援となりますが、現場の状況ヒアリングと活動資金の状態に応じて他の物資を支援しています。



提供される食事は
温かいケニアのローカル飯(米、豆を
煮たものなど)です。
ローカル飯は元気の源！

★代表者からのメッセージ★

- Ninashukuru sana kwa msaada mnaoendelea kunipa kwa hizi shughuli za feeding. Nimeweza kuwasaidia watu 330 kwa miezi mitano. Na watu wamebadilika nakuamua kubadilika ni 87 na bado tunaendelea. Lengo letu nikufikia watu wengi zaidi wale wanahitaji kupewa motisha. (2020/08/28)



私達の活動に引き続き関心を寄せてくれる方がいることに感謝します。約5か月間の活動の中で330人(支援開始時は約100名ほど)もの人々をサポートすることができました。活動(食事支援やカウンセリング)を行う中で、87名の人々が“自分を変えていく(薬物使用など)”ことを決意しました。そしてその人々への支援はまだこれからも続けていきます。私たちの目標は、より多くのやる気が必要とされる人々にこの活動を通してアプローチしていくことです。



2020年6月頃の活動の様子

★ワンコイン(500円)でできること★

例:

- 布マスク5枚分をサポートできます。
※一枚100ksh (=約100円)
- 食事 約10人分をサポートできます。
※一食約50ksh (=約50円)



ご質問等ございましたら
こちらまでご連絡ください

村岡智子

✉ momori5927@gmail.com

★オンライン上でもご寄付頂けます★

クラウドファンディング M-changa
(2020/09/30まで実施 残り約一か月!)
<https://changa.page.link/eWqHV>

👉 オリジナルのプロジェクト概要も
こちらからご覧頂けます 👍



★あとかき★

3月下旬、日本に帰国する際には全世界でこんな状況になるとは思ってもみませんでした。

私の活動先である二エリチルドレンズリマンドホーム(児童拘置施設)では、犯罪や保護のケースの子供たちが抱える生活(拘置)を送りながら裁判所からの審判が出るまで生活する公的な施設です。子供たちを見ず、の言葉に、反抗しながらも聞いてみたいと求めているのが彼らと過ごしながらかじられました。

そんな子供たちに向けた情操教育の一環として『チャレンジ』をテーマに、子供たちと似たような生育環境で育ちてきたケニアの方を招き講演してもらった(コロナ禍の影響で講演は実施直前で中止)。その企画のスピーカーとして知り合いの方から紹介して頂いたのが、アントニーさんでした。ストーリーキッズだった頃から抱き続けてきた思いや社会人となり自分で生計取り組む姿勢を今、取り組みたい社会課題があることなど思いやりをもって熱く実現したい目標に

「彼らは他人同士だけど家族同然で暮らしているよ」「彼らの中には学校に行きたい、仕事につながる技術を持っていますが、それ以上「人」として他者と関わり暮らしていくことを大切にしているのだという事実である事をアントニーさんからお話で学びました。

「存在がないものとして通り過ぎて行かれるだけの日々はつらい。けれど彼ら(アントニーさんら)は食事を支えているストリートで暮らす方からのお声です。」これはアントニーさんらの団体

現場にいて活動に加わることはできませんが、微力ながら日本から彼らの活動をお手伝い出来たらと思いここで話させて頂きました。

長々となりましたがご覧いただきましてありがとうございます。

村岡智子